



2026年

8月

中国四国農政局
徳島県拠点

徳島県のブロッコリーに注目！！ ～ 指定野菜への追加で広がる期待 ～

指定野菜とは、国が食生活において消費量が多く安定した供給が重要と認める野菜のことです。全国的に流通し消費量が多い、または増加が見込まれる野菜が対象です。



◆ 全国第6位の収穫量を誇る

徳島県では温暖な気候や恵まれた農業環境を生かして、徳島市、阿波市などを始め、県内各地で広く栽培されます。

令和6年産の収穫量は全国第6位で、国内における主要産地として重要な役割を担っています。

作付けが増加した背景には、露地で栽培しやすく大規模な施設・機械導入が不要なこと、安定した収益が期待できることなどがあげられます。

また、健康志向の高まりで、需要が大きく増加したことも後押ししてきました。

県内で10月頃から翌年6月上旬にかけて収穫されたブロッコリーは、関西方面を中心に出荷され高い評価を得ています。

◆ 指定野菜が15品目に

食卓を彩るブロッコリーが、令和8年4月から国の指定野菜に加わり、重要な野菜として位置づけられました。すでにキャベツ、きゅうり、なす、だいこん、にんじんなどが指定されていますが、昭和49年のばれいしょ以来、約50年ぶりで注目を集めています。



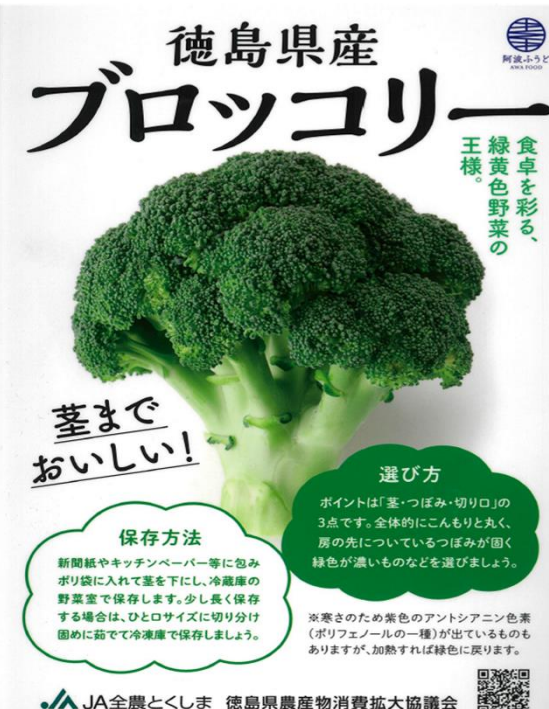
鮮度が重要！ 新鮮な徳島県産ブロッコリーを食卓へ

県内のJAに集荷されたブロッコリーは、約6割が京阪神方面の市場に出荷され、他にも四国内や中京・京浜の市場などに出荷されています。

その際、鮮度を維持するために、発泡スチロール箱に氷を詰める「氷詰め出荷」が行われ、高品質な状態で消費地へ届けられています。

また、徳島県農産物消費拡大協議会（事務局：JA全農とくしま）では、県内JAと連携し、ブロッコリーを含めた県産野菜の消費拡大に向けて、量販店でのイベント・PR活動、飲食店への食材提供などを実施しています。

今後も、徳島県、生産者、市場関係者などと連携しながら、一層の生産拡大と品質向上、さらなる販売強化に取り組むこととしています。



徳島県産
ブロッコリー

食卓を彩る、
緑黄色野菜の
王様。

茎まで
おいしい！

保存方法
新聞紙やキッチンペーパー等に包み
ポリ袋に入れて茎を下にし、冷蔵庫の
野菜室で保存します。少し長く保存
する場合は、ひとサイズに切り分け
固めに茹でて冷凍庫で保存しましょう。

選び方
ポイントは「茎・つぼみ・切り口」の
3点です。全体的にこんもりと丸く、
房の先についているつぼみが固く
緑色が濃いものを選びましょう。

※寒さのため紫色のアントシアニン色素
（ポリフェノールの一種）が出ているもの
もありますが、加熱すれば緑色に戻ります。

JA全農とくしま 徳島県農産物消費拡大協議会



鮮度保持のため「氷詰め出荷」



量販店でのイベント
（写真及び資料提供：JA全農とくしま）

課題を解決し産地拡大と増産を！

生産現場では、生産者の高齢化や高温による定植後の生育不良及び近年急速に広がった「黒すす病」による品質低下、収量減少が課題となっています。

そこで、徳島県立農林水産総合技術支援センターでは、「とくしま農業振興プロジェクト（目指せ日本一！ブロッコリー産地拡大）」を立ち上げ、JAなどの関係団体と連携し、各産地の実情に応じた取組を進めています。

黒すす病の防除体系マニュアルの作成や、高温対策技術の導入等により、生産技術の向上、増産、販売力強化、担い手確保や経営力強化に向けた支援を行っています。

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943徳島県徳島市中昭和町2丁目32番地

TEL (088)622-6133(内線405) <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>